付録

操作の途中でわからなくなったときや、本機の再セットアップについて説明します。

再セットアップを開始する

同梱のProduct Recovery CD-ROMを使用して、ハードディスクの内容（システムやアプリケーション）をご購入時の状態に戻すことができます。
Windows XPが正しく動作しなくなったとき、電源を入れてもWindows XPが起動しなくなったときなどに、Product Recovery CD-ROMを使用してハードディスクを修復（以下はこの修復作業を「再セットアップ」と表記します）してください。

・Product Recovery CD-ROMを使用するには、別売りのCD-ROMまたはDVD-ROM装置が必要です。指定品以外は使用できません。（参照！→149ページ「別売品一覧」）

注意！

- Windows XPおよびProduct Recovery CD-ROMは、絶対に無くさないでください。紛失した場合は、再発行することはできません。
- 再セットアップを実行すると､それまでにハードディスクに保存していたすべての情報が失われます。重要なデータについては、日頃からデータのバックアップ（複製）をとり、本機とは別に保存しておくように心掛けてください。
- 再セットアップを行うときには､必ず本機にACアダプタを接続して作業してください｡再セットアップの作業の途中でバッテリ容量がなくなると､作業を初めからやり直す必要があります。
- 再セットアップを行うときには「ソフトスイッチ」は必ず「MODE A」の側にしておき、再セットアップ中は絶対に動かさないでください。

再セットアップ作業は、以下の手順に従って実行してください。

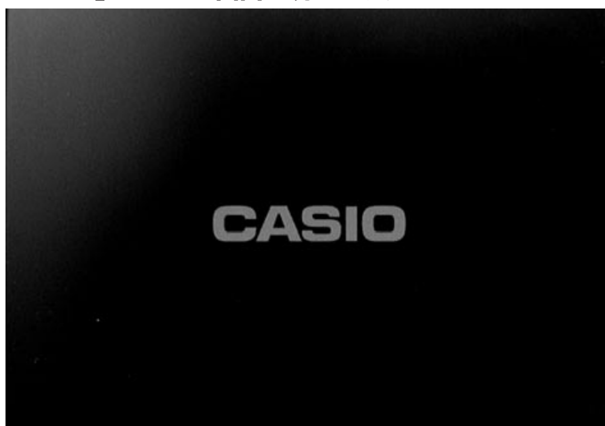
以下は別売りのCD-ROM装置を使用して説明していきます。
DVD-ROM装置（品番：MPC-245DVD）で再セットアップするには、付属のPCカードをCardbusモードから16bitモードに切り替えてください（DVD-ROM取扱説明書を参照してください）。また、DVD-ROM装置には付属のACアダプタを接続してください。

● RecoveryCD から起動する

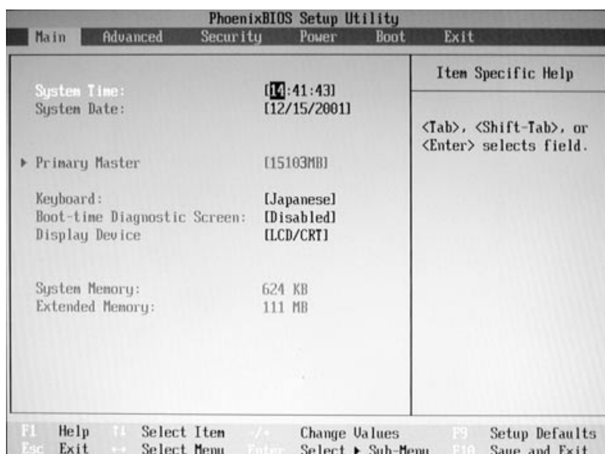
通常の立ち上げハードディスクから起動するように設定されていますが、再セットアップの操作ではCD-ROMから起動することができます。

手 順

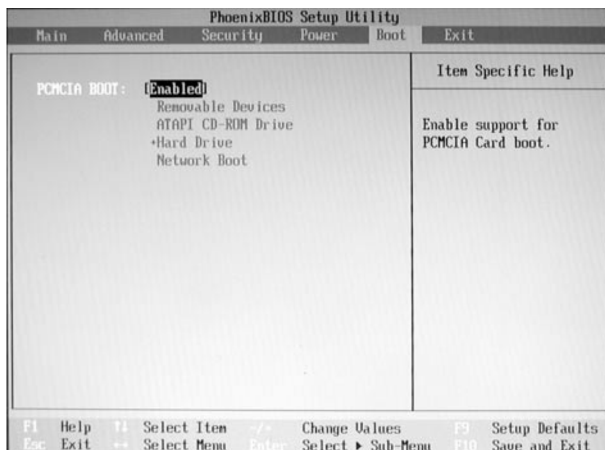
1. **電源を切り、周辺装置をすべて外します。**
2. **CD-ROM 装置を接続します。**
3. **CD-ROM 装置に Product Recovery CD-ROM をセットします。**
4. **本機の電源スイッチを押します。**
5. **「CASIO」のロゴの画面が現れます。**



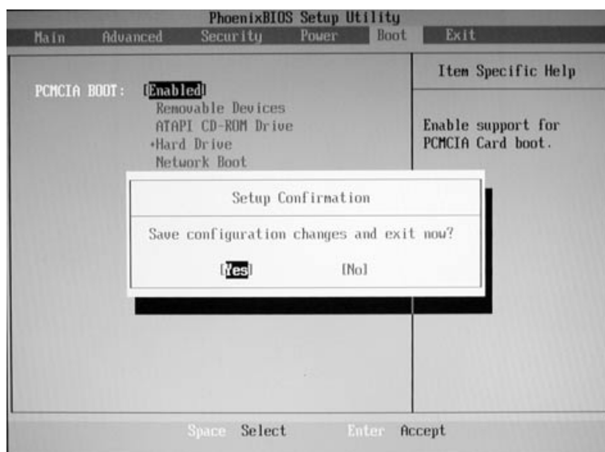
- **「CASIO」のロゴが表示している間に F2 キーを押して BIOS セットアップ画面を表示させます。**



- →でBootを選択し「PCMCIA BOOT:」が「Disabled」になっていますので、スペースキーを押して「Enabled」に変更します。



- 続いてF10を押し､｢YES｣が選択されているのを確認してEnterキーを押します。



付録

● ハードディスクのパーティション設定／フォーマットを行う

Product Recovery CD-ROMから起動され、自動的にリカバリ作業が開始されます。画面に表示される指示に従って、作業を進めます。

手順

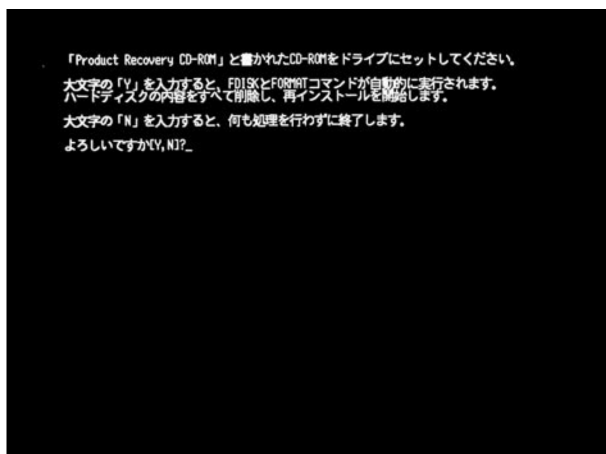
1. リカバリの処理選択を行います。

「Windows 領域」と「B-mode 領域」のどちらのリカバリを行うか選択をします。



「B-mode アプリ領域のリカバリ」については、別冊を参照してください。
「B-mode アプリ領域」が不要な場合は、B-mode のリカバリを行う必要はありません。

2. ハードディスクの初期設定を行います。



注意！

この画面で Shift ＋ Y（大文字の「Y」）を押すと、それまでにハードディスクに保存したデータはすべて削除されます。作業を中止したい場合は、ここで Shift ＋ N（大文字の「N」）を押して、リカバリ作業を中止してください。

メモ！

ここで Y を入力すると、FDISKコマンドでハードディスクのパーティショニングが行われ、通常データの保存に利用するパーティションと、ハイバネーション時のメモリの待避用のファイル等が作成されます。

3.（再起動後）CD-ROM を入れ換えます。

ハードディスクのフォーマットが終了したら、Product Recovery CD-ROMをCD-ROM 装置から取り出し、同梱の「Microsoft Windows XP Home Edition」の CD-ROM をセットします。CD-ROM 装置の BUSY ランプが消えたらその後、任意のキーを押します。

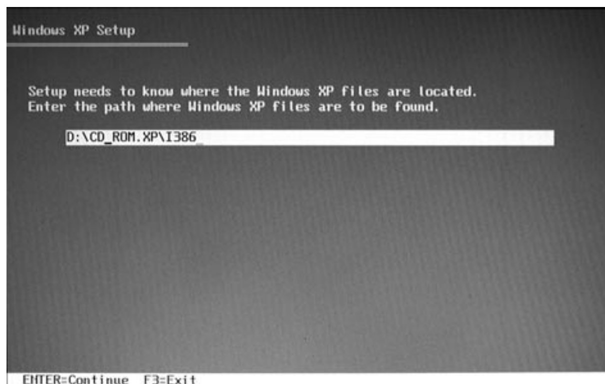


注意！

CD-ROM を入れ換えるときは、CD-ROM 装置の電源を切らないでください。

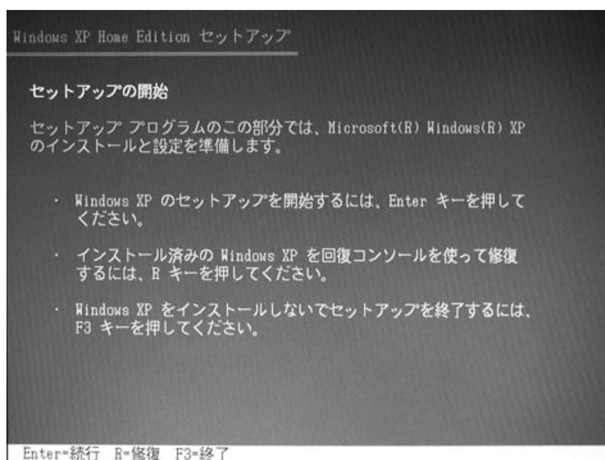
付録

4. **Windows XP のセットアップを始めます。**
以下の画面が現れたら、順に Enter を押します。



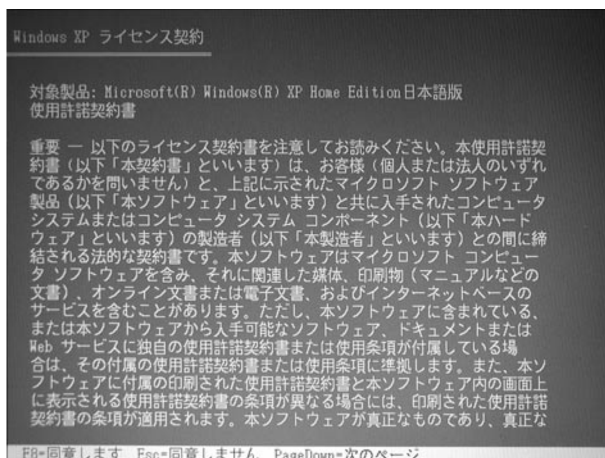
＊次の画面まで、数分間かかります。



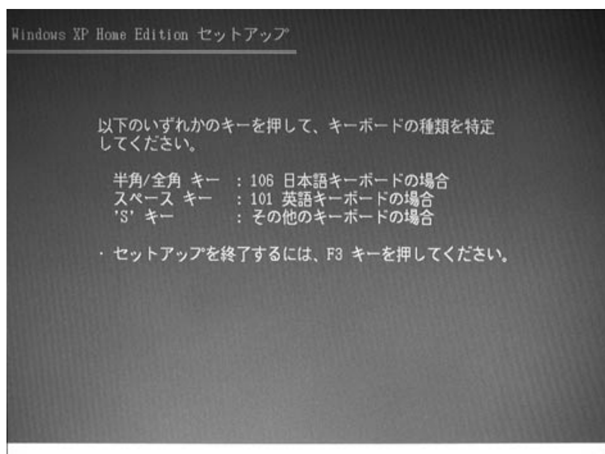


5. **Windows XP のライセンス契約です。**

「使用許諾契約書」の内容を必ずお読みください。同意する場合は、F8 を押し次の手順に進んでください。

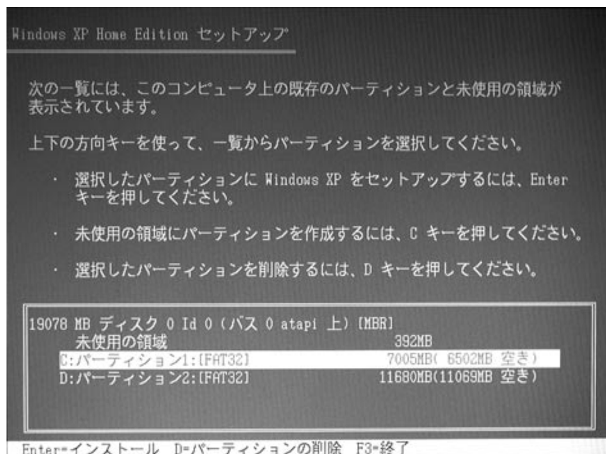


6. **本機のキーボードの種類を特定します。**
本機の 半/全 漢字 を押してください。

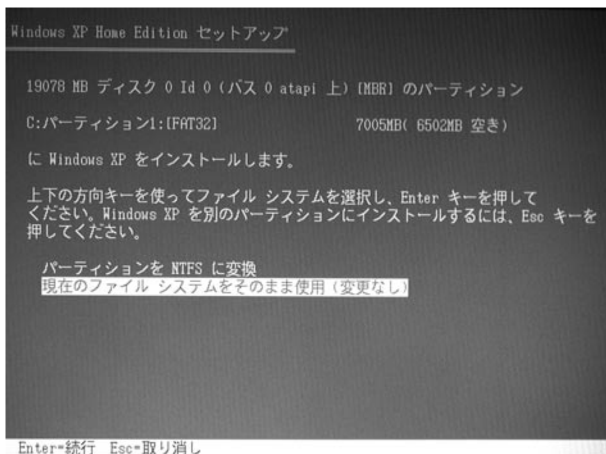


キーボードが「106 Japanese Keyboard (Including USB)」と選択されたら、[Y] を入力してください。

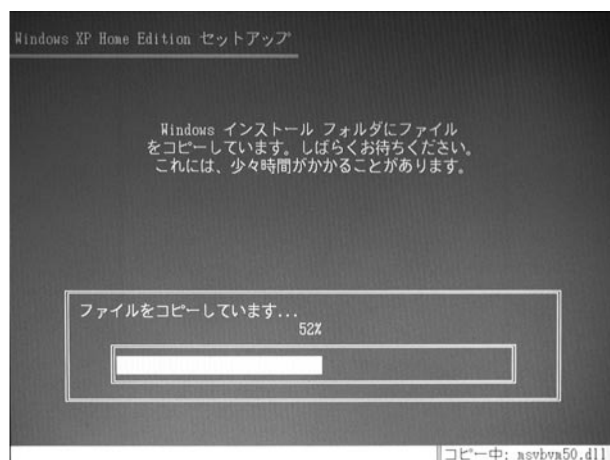
7. **本機の指定されたパーティションに Windows をセットアップします。**
矢印キーで、「C：パーティション」を選択し、Enter を押してください。



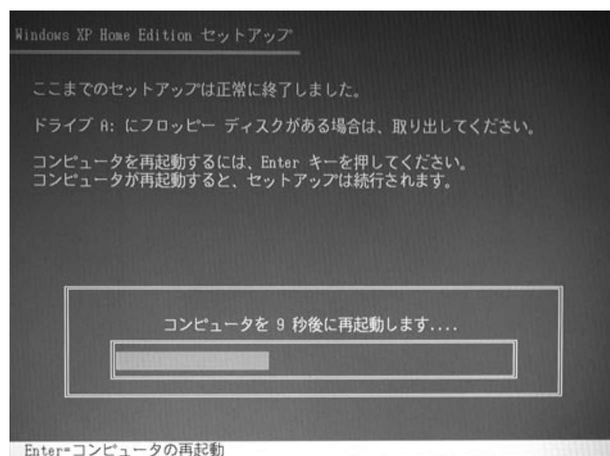
「現在のファイルシステム ....」を選択し、Enter を押してください。



すると画面が変わり、Windows XP のセットアップの準備を行い、Windows インストールフォルダにファイルをコピーしていきます。

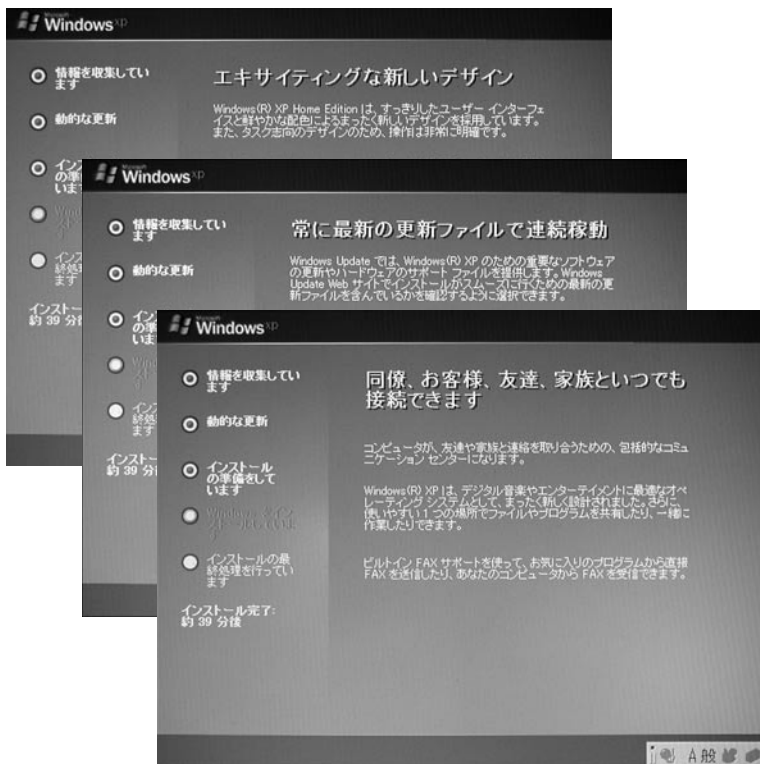


8. Windows のセットアップは、正常に終了しました。
Enter を押してください。



付録

9. **本機が再起動され、Windows のインストールが始まります。**



10. **[地域と言語のオプション]**
別の地域と言語に対して、Windows XP をカスタマイズできます。
[次へ（N）] ボタンをクリックします。

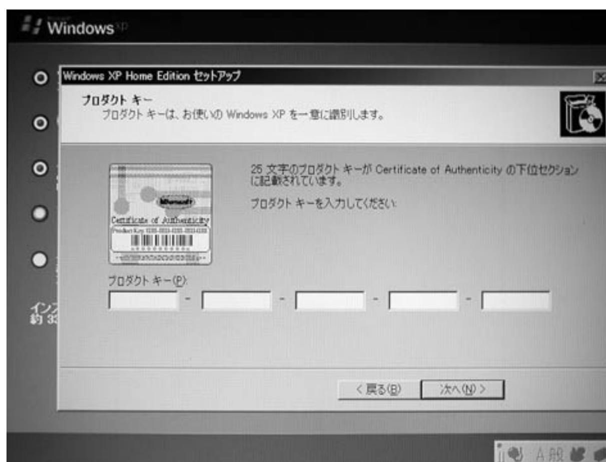


11.［ソフトウェアの個人用設定］の設定を行ないます。



12. プロダクトキーを入力します

本体の裏面に貼られた「Certificate of Authenticity」に印刷されている英数字（プロダクト キー）を入力し、［次へ（N）］ボタンをクリックします。この入力では、Shift を押さない状態でも英文字が大文字で入力されます。



注意！

プロダクト キーを入力する際は、0（ゼロ）とO（オー）、B（ビー）と8（ハチ）など間違いやすい文字がありますので、十分注意してください。

付録

入力したプロダクトキーが正しくないときには、下の画面となります。



13. コンピュータ名を設定します。



14. **モデムのダイヤル短縮**
モデムを使用して正しくダイヤルするために、現在の所在地情報を入力して［次へ（N）］ボタンをクリックしてください。

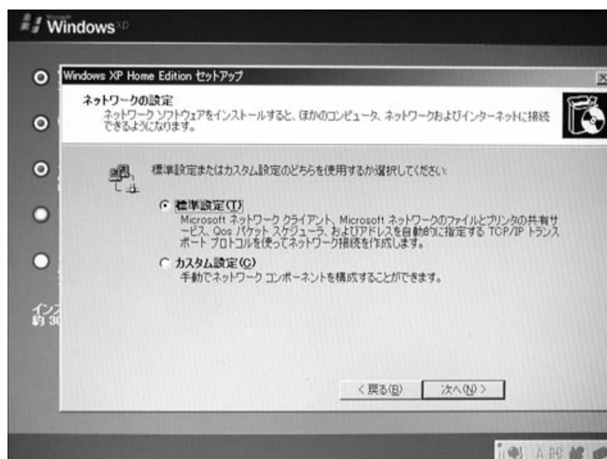


15. **［日付と時刻］の設定を行います。**
日付と時刻、およびタイムゾーンを正しく設定して、［次へ（N）］ボタンをクリックします。



付録

16. **ネットワークの設定を行います。**
ネットワークソフトウェアをインストールすると、ほかのコンピュータ、ネットワークおよびインターネットへ接続できるようになります。



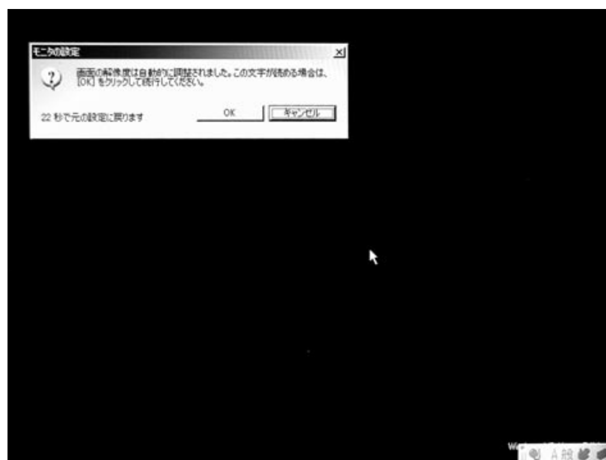
［次へ（N）］をクリックして、インストールの最終処理へと移行していきます。

17. **Windows XP が起動されます。**



18. ディスプレイの設定を行います。



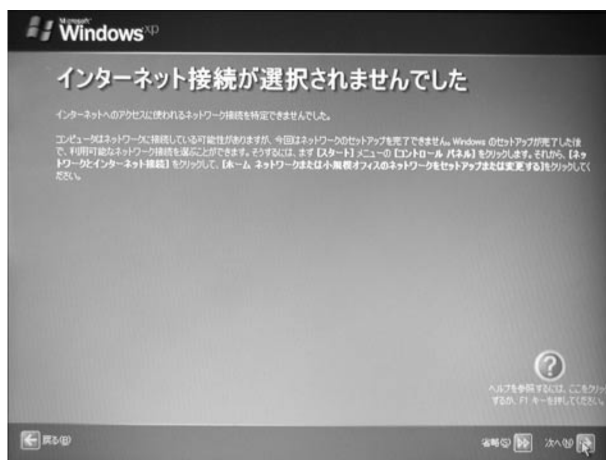


付録

19.Microsoft Windows へようこその画面です。
「Windows のライセンス認証の手続き」や「ユーザーアカウント」などのセットアップを順に行います。XP が起動されます。

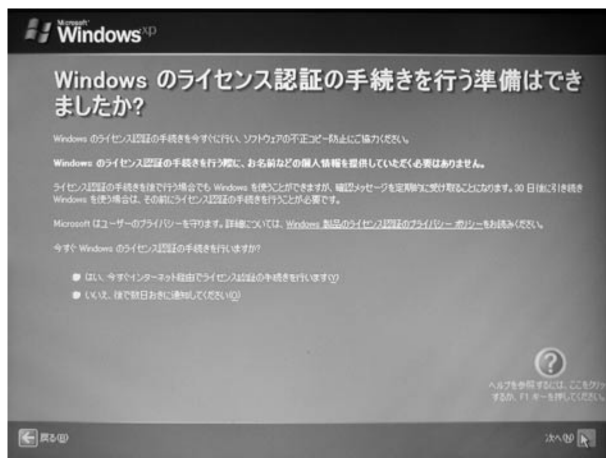


20. インターネット接続がされませんでした。
本機が、モデムや LAN などでインターネットに接続されていない時の画面です。ここで設定しなくても、後で設定できます。

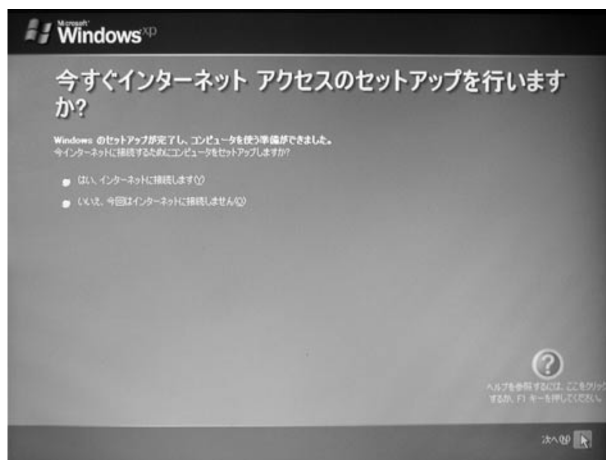


21. ［Windows ライセンス認証］の手続き

認証手続きは後で行うこともできます。インターネットへの接続やモデムの準備等ができていない、電話がそばにない時などは「◉いいえ、後で数日おきに通知してください」を選択してください（**参照！→ 49 ページ　Windows のライセンス認証について****）。**

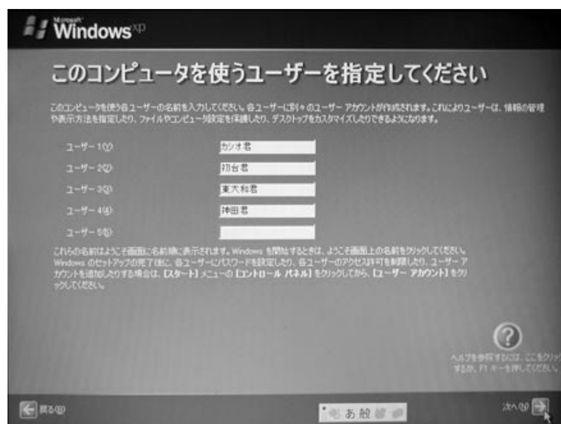


「◉いいえ、後で……」を選択したときは、次の画面でも「◉いいえ……」を選択してください。



Windows ライセンス認証の手続きをここでは行いませんでした。猶予期間内に必ずライセンス認証の手続きを行ってください。

22. **このコンピュータを使うユーザーの名前を入力します。**
ユーザーは必ず１つは入力する必要があります。



23. **「設定が完了しました」の画面が表示されます**
Windows XP の基本的な設定が完了したことを、現しています。CD-ROM 装置を本機から外してください。
次に、［完了］ボタンをクリックしてください。



以上で Windows XP セットアップは完了です。この後 Windows XP の初期画面が表示され、Windows XP を利用できるようになります。

24. 再起動後、Windows XP のユーザー選択画面が表示されます。



次に、BIOS 設定の変更を行います。
（但し、［B-mode アプリ領域のリカバリ］を実行すれば、この変更は不要です。）
変更を行わないと、ソフトスイッチを［MODE B］にして起動しても［MODE A］で起動したときと同様に Windows XP が起動します。

1）Windows を終了し、電源を一旦 OFF します。
2）本機の電源を入れます。
3）画面中央に「CASIO」が表示している間に F2 を BIOS セットアップ画面に移行するまで、数回押してください。
4）F9（Set Up Defaults）を押し、「YES」が選択されているのを確認して Enter を押します。
5）F10（Save & Exit）を押し、「YES」が選択されているのを確認して Enter を押します。

付録

Recovery CD-ROMからソフトをインストールする

●カシオ独自のソフトをインストールする

本機は、工場出荷時に幾つかのソフトがインストールされています。
これまでの作業により、本機のハードディスクの内容はWindowsをインストールした状態に戻ります。ただし、以下のソフトや設定については、リカバリ作業を行っても元の状態には戻りません
Product Recovery CD-ROMから自動的にインストールすることができません。それぞれのソフトのセットアッププログラムを起動して、インストールしてください。

設定／ソフト	対処方法	参照
FIVA TOOL/Acrobat Reader/ISAO/So-net/ODN/@niftyでインターネット/SANRIO WAVE/Video Studio/インターネット Ninja2001/デジカメWalker/Launcher	Product Recovery CD-ROMからインストールします	132ページ
壁紙を変更する	［画面のプロパティ］で設定を変更します	134ページ

重要！

再セットアップでWindows のインストールが終わると、今まで使用していた CD-ROM装置（品番：MPC-142CDD）や DVD-ROM 装置（品番：MPC-245DVD）の使用ができなくなります。
Windows で使用するハードディスクは「ローカルディスク（C:)」ですが、再セ ットアップ後は「ローカルディスク (D:)」にそのドライバがあるためです。上記のCD-ROM装置または DVD-ROM 装置を使っ て、ソフトをインストールするために下記の操作を行ってください。

手 順

1. CD-ROM/DVD-ROM 装置に接続されている PC カードを本機にセットすると、プラグアンドプレ イにより「新しいハードウエアが見つかりました」と表示され、ドライバのインストールを要求する画面が表示されます。
   または、PC カードをセット後、［コントロールパネル］から［ハードウェアの追加］を選択して処理を続けます。

2. ドライバはハードディスク ドライブのローカルディスク（D:）にありますの で、下記のように入力してください。
   D:\CDRIVERS

3. 入力後は、画面の指示にしたがってください。

手 順

1. **Procuct Recovery CD-ROM を CD-ROM 装置にセットします。**
   「Microsoft Windows XP Home Edition」の CD-ROM を CD-ROM 装置から取り出し、Product Recovery CD-ROM を入れます。

2. **［マイコンピュータ］→［CD-ROM］を選択し、クリックします。**

3. **Product Recovery CD-ROMの内容がウィンドウに現れます。ここで、「READ ME.TXT」を開きお読みください。次にインストールしたいソフトのフォルダをダブルクリックし、フォルダを開きます。**



4. **各ソフトのフォルダの中から、［Setup］又は、AR500JPN、INSTALL 等をダブルクリックし、実行します。あとは指示に従って、インストール作業を行ってください。**
   各ソフトは選択的にインストールできますが、FIVA TOOLS（モバイルコックピット等）には重要なシステムサポート機能が組み込まれているので、必ずインストールするようにしてください。

メモ！

モバイルコックピットには、ホットキーによる音量の設定機能、パワーマネージメントなどの設定などが組み込まれています。

付録

壁紙を変更する

リカバリ後の画面は、本機の工場出荷時の設定の壁紙（背景）となります。リカバリ作業後お好みの壁紙の設定にするには、以下の操作により、変更します。

手 順

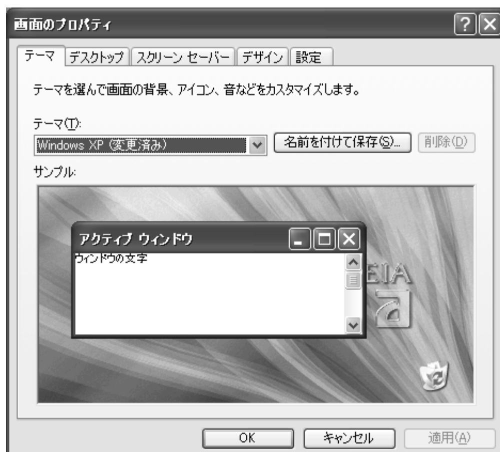
1. Windows XP のデスクトップ上で右クリックをします。



2. ［画面のプロパティ］ウィンドウが現れます。

3. 壁紙を変更します。
   ［デスクトップ］タブをクリックし、［背景］から使用するお好みの画像を選択します。

4. ［OK］をクリックして、設定を終了します。



ランチャーについて

ランチャーは、プログラムの実行を容易にするための特別なデスクトップウインドウです。選択した項目のアイコンにカーソルを合わせると、アイコンの画面右下にそのソフトの簡単な紹介文が表示されます。このとき、右のコントロールボタンを押すと更に詳しい説明文が表示されます。
カーソルをアイコンに置かれたままクリックすることで、その項目のアプリケーションソフトを容易に実行する事ができます。

❑ランチャーの画面



制御ボタン　名前と用途

 **最小化**
ランチャー画面を最小化します。ウインドウは最小化されても開いたまま、タスクバーにウインドウボタンとして表されています。

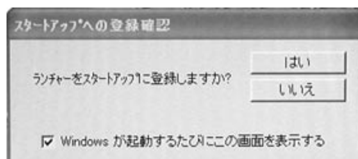
 **閉じる**
ランチャー画面を閉じます。

カーソルは、ウインドウの内と外で形が変わります。

ランチャーウインドウの外	通常のカーソルアイコンです。
ランチャーウインドウの内	指を開いた形にアイコンが変わります。
ランチャーウィンドウの内	左コントロールボタンを押すと、指を握りしめた形になり、画面の移動ができます。
アイコンの内	アイコンにカーソルをあわせると、指をさす形になります。

❑ランチャーの起動

ランチャーの起動は、①デスクトップから選択する、②モバイルコックピットのAP起動ツールバーから選択する、③スタートメニューから起動する　の3通りから選ぶことが出来ます。
また、ランチャの起動時には、右コントロールボタンを押して［スタートアップ登録確認メッセージ］をチェック（☒）すると、下記の画面が表示され次回からの起動方法を選択することができます。



付録

❑ランチャー内のアプリケーション

・Ulead VideoStudio 5.0 SE Basic

シンプルな操作でビデオ編集作業ができるデジタルビデオ編集ツールです。しかも、デジタルビデオ編集に必要なキャプチャ、編集、トランジション（場面転換）、出力などの機能を全て標準装備しています。
1～8のステップに沿って作業を進めるだけで、どなたにでもプロのようなデジタルビデオ作品を完成することができます。

・ビデオスタジオ５は、C:\Program Files\Ulead Systems\Ulead VideoStudio 5.0 にインストールされます。

Ulead VideoStudio は、ユーリードシステムズ社の登録商標です。

・デジカメ Walker

デジカメ Walker には、オリジナル写真を使ってグリーティングカードや名刺・Tシャツ・シールなどのグッズ、また、パーティーの招待状やポスター、パソコンのスクリーンセイバーや壁紙など．．．、目的にあったテンプレートが豊富に用意されているので、クリックしていくだけで誰にでもカンタンに、お気に入りの作品をつくることができます。

・デジカメ Walker は、C:\Program Files\Ulead Systems\ デジカメ Walker にインストールされます。

Ulead デジカメ Walker は、ユーリードシステムズ社の登録商標です。

・インターネット Ninja 2001

「インターネット Ninja」は、HTML、画像、音楽ビデオなど、インターネットに散在するマルチメディアデータを、簡単な操作で収集、整理、管理、活用することのできるサイバーストレイジソフトです。
ドラッグ・アンド・ドロップなどの直感的な操作によるリンク先データの一括ダウンロード機能や使い易いデータベース機能、対応画像フォーマットの多さなどが特徴です。
インターネット上での情報検索を強化するため、複数の検索エンジンで同時に検索を実行し、より的確な結果を表示する「稲妻！サーチ」やスピーディーに情報を保存する「Ninja エクスプローラバー」などの新機能を搭載。さらに高速検索を可能とする新データベースエンジンにより、インターネット上での情報収集・保存・活用といった一連の作業が、より幅広く、深く、スピーディーになります。
また、急増する電子商取引（Web ショッピングやホームバンキングなど）に対応するため、決済内容やID発行画面などの情報も確実に保存し、簡単なキーワードからの高速検索も可能にしました。

・インターネット Ninja2001 は、C:\Program Files\Internet Ninja 2001 にインストールされます。

Ninja は、株式会社アイフォーの登録商標です。

困ったときは

パソコンはいろいろなアプリケーションや周辺機器を組み合わせて使うので、予期しないトラブルが発生することがあります。こうしたトラブルをうまく解決するためにいくつかのポイントがあります。

● **Point 1：落ち着いて対処する**

電源をすぐに切ったり、何度もクリックしたりキーボードにタッチしないようにします。
パソコンやアプリケーションソフトの反応が遅くなっただけかもしれません。

● **Point 2：メッセージが表示されていたら書き留める**

画面上やプリンタに、番号や英数字／英文字など出力されていたら解決への何かのヒントになるかもしれません。紙に書き留めておくようにしてください。

● **Point 3：原因がなにか考える**

原因が本体なのか周辺機器かまたはアプリケーションソフトなのか、また同じ操作をすると必ず発生するものなのか、原因の特定に役立つものがあると解決が早くなります。

● **Point 4：添付されている他の「説明書」やヘルプを見る**

トラブルの解決に役立つことが説明されているかもしれません。説明書やソフトに添付されているヘルプを一度は見てください。

＊問い合わせをする前に、下記の表を記入しておいてください。問題解決に大変便利です。

あなたのパソコンの構成		
本体	型　名	
	UNIT ID番号（本体底部に貼付）	
	メモリの容量（MB）	
	ハードディスクの容量（GB）	
	ハードディスクの空き容量（MB）	
	バッテリパックの使用の有無	
周辺機器	外部接続ディスプレイ	
	接続しているプリンタ	
	使用しているＰＣカード	
	その他接続している周辺機器	
ソフトウェア	OS（Windows）のバージョン	
	トラブル時に実行していた ソフトウェアのすべて	
備考		

●電源を入れるとき／切るとき

状 況	対 応
電源が入らない 電源スイッチを押しても全然動作しない PW-LEDが赤色に点滅している 一度電源が入るがすぐに切れる	ACアダプタを接続します。 ・本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、コンセントが確実につながっているか確認する。 ・バッテリパックが正しく装着されているか確認する 充電済みのバッテリパックを取り付けます（電池残量が残り少ないと警告メッセージが表示されて電源が切れます）。
電源を入れてもシステムが起動しない 休止状態（ハイバネーション）で本機の電源を入れたがシステムが起動しない	電源を入れた状態で本体裏面のリセットスイッチを押してください（この場合休止状態によって、保存されたデータは失われますので注意してください）。
ディスプレイを開いたがスタンバイ状態から復帰しない	HDD-LEDが消灯している事を確認してから、電源スイッチを押して電源を入れます。
電源が切れる 使用中に休止状態（ハイバネーション）処理を行い、電源が切れる	ACアダプタを接続するか充電済みのバッテリパックを取り付けてください。電池残量が少ないときに起動すると、この状況になります。
	しばらく放置して、内部の温度が下がるまで使用をお待ちください。
バッテリの充電が完了しても、バッテリによる使用時間が短くなった	バッテリパックの寿命が考えられます。 モバイルコックピットのバッテリコントロールを起動し、［バッテリライフ］を確認してください。 信号機マークが赤色ならばバッテリパックの交換時期の目安です。

メモ！

本機は、内部温度が一定以上に上昇すると危険防止機能がはたらき、まずCPUの速度を落とし温度を上昇させないように制御します。また周囲が高温の場所で使用中のときは、データ保護のためハイバネーション処理を行う場合があります。

付録

●画面がおかしい

状 況	対 応
画面に何も表示されず、PW-LEDが点灯しない	電源スイッチを押して、電源を入れてください。
画面に何も表示されず、表示自動停止機能がはたらいた	コントロールボタンを押してください（省電力機能［液晶設定］によってディスプレイ画面を消去する場合が有ります）。（参照！→101ページ）
Windows XPのユーザーパスワードを忘れたとき	「Windowsログイン」の画面で、新しいユーザー名でログインを行うかWindows XPの再セットアップを行います。
BIOS設定でのユーザーパスワードを忘れたとき	お使いの機種モデルを確認の上、購入先またはカシオテクノサービスセンターへご相談ください。
スタートボタン／タスクバーが表示されない	・タスクバーの高さを低く設定しているとき マウスポインタを画面下に移動し、ポインタの形状が上下（↕）にかわったら、上方向にドラッグアンドドロップします。 ・タスクバーが［自動的に隠す］の設定になっているとき タスクバーのプロパティから［自動的に隠す］のチェックを外します
画面がみにくい	正面に画面がくるように、本機のディスプレイの向きを変えてみます。
画面が暗い	画面の輝度を調整してください（キーボードの Fn ＋ F1 または F2 ）。調整しても暗い場合は、長期間のご使用でディスプレイの部品が消耗している事が考えられます。お使いの機種モデルを確認の上、購入先またはカシオテクノサービスステーションへご相談ください。
	外部モニターを本機に接続してご使用の際、PCMCIAカード（CFカードを含みます）を挿入したり、コントロールパネルのシステムからデバイスドライバを更新すると、画面が一瞬暗くなることがあります。
画面に何も映らない	外部モニターに表示が切り換えられています。 Fn ＋ F10 を押して、表示デバイスを液晶に変更してください。（参照！→81ページ）

●ソフトがおかしい

状況	対応
音が間延びしたりする	一度サウンドの再生を中断し、もう一度再生します。
音が途切れたりする	・他のアプリケーションを終了します。
音声の再生中や通信時に、音飛びや通信エラーがおこる	下記の操作をすると発生することがあります。 ・使用電源をACアダプタ←→バッテリパックに使用中に変更した場合 ・バッテリレポートを起動したとき ・FIVAのCPUの負荷が大きいとき ・本体内部温度上昇によりCPUの速度が落ちているとき
スピーカから音が聞こえない	・ヘッドホン端子にヘッドホンがさしてある場合は取り外してください。 ・音量設定の変更をしてください。 ・［ボリュームコントロール］の設定が「ミュート」になっているときはチェックを外してください。
使用中、稀にマイクからの録音ができなくなった／スピーカからの音声出力がされなくなった	・音量設定の変更または再起動することで回復します。
動画の再生時に、こま落ちする。	DVD-ROMドライブを利用して動画を再生すると、ご使用の状態によっては、こま落ちする場合があります。これは、故障ではありません。
ワンタッチ操作ボタンを押してもソフトが起動しない	ワンタッチ操作ボタン（P1―メール、P2―インターネット、P3―メモ）は、モバイルコックピットⅢでそのアプリケーションソフトを起動しています。スタンバイや休止状態からの復帰直後、またどこにもフォーカスが当たっていないときには、起動しない場合があります。その場合には、もう一度ボタンを押すか、画面のどこかを一度クリックしてください。

付録

●周辺機器の動作がおかしい

状 況	対 応
PC/CFカードが使えない	PC/CFカードが正しくセットされているか確認してください。
フロッピーディスク装置が使えない 使用するシステムのフロッピーディスクをセットし、Ctrl＋Alt＋Del を押してもシステムが再起動しない。リセットスイッチを押して再度上記の操作をしてもシステムが再起動しない。	フロッピーディスク装置が故障している可能性があります。お使いの機種モデルを確認の上、販売店またはお近くのカシオテクノサービスステーションへご相談ください。
フロッピーディスク装置が使えない フロッピーディスク装置のアクセスランプが消えない	大量のデータを処理しているときは、アクセスLED が消えるまで待つ。
フロッピーディスク装置が使えない システム起動用のフロッピーディスクからシステムが起動しない	モバイルコックピットの［環境設定］から［FDD > HDD］を選択します。
休止状態（ハイバネーション）から復帰後、接続したUSB対応周辺機器が動作しない	・接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください ・休止状態（ハイバネーション）から復帰後、正常に動作しない場合はUSBコネクタから一度外し、再度接続してください。

●文字の入力ができない

状 況	対 応
文字ロックが希望の状態でない	Shift ＋ CapsLock を使って、希望の状態にします。
Alt ＋ 半／全 を押しても漢字モードにならない	日本語入力システムを組み込みます。
どのキーを押しても反応しない	電源を切って再起動します。
キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう	キーボードドライバが正しく設定されていない［コントロールパネル］の［システム］からキーボードを選び［106日本語キーボード］に設定する。
Ctrl ＋ Alt ＋ Del を押しても反応しない	リセットスイッチを押します。（参照！→23ページ）
通常キー入力なのに数字が入力される	Fn ＋ F11 で切り換えます。

●印刷がおかしい

状 況	対 応
印刷ができない プリンタの電源が入っていない	本機の電源をいったん切り、プリンタ→本機の順に電源を入れ直します。
印刷ができない 接続ケーブルやコネクタが正しく接続されていない	正しく接続し直します（プリンタによっては指定のケーブルが必要な場合がありますので注意してください）。
印刷ができない プリンタが印刷可能状態（オンライン）になっていない	プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示確認をしてください。
印刷ができない 接続しているプリンタと違うプリンタを、アプリケーションソフトで設定している	［コントロールパネル］の［プリンタ］で正しく設定し直します。
上記のすべての対応をしても印刷できない	Windows XPを終了し、本機をあらためて再起動してください。
印刷ができない プリンタ専用のプリンタドライバがインストールされていない	新しく接続したときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。プリンタドライバの設定を確認してください。

●調子がおかしい

状 況	対 応
充電したのにすぐにPW-LED が赤色に点滅する	バッテリパックの充電機能が低下している場合は、別売りのバッテリパックと交換します。
使用中に「ピー」と音が鳴る	バッテリパックの充電が不足し切れかかっています。 ＡＣアダプタを接続してください。
操作中に本機が動かなくなった	・バッテリパックを使用していたときは、バッテリが切れた可能性があります。ACアダプタを接続してください。 ・使っていたアプリケーションソフト上の問題で、システムが止まってしまった可能性があります。リセットスイッチを押し、本機を再起動してください。
動作が遅い ①	・一度電源を切り、再起動して様子を見てください。 ・メモリ不足が考えられます。RAMモジュールの増設を考慮してください。
動作が遅い ②	パワーマネージメントがエコノミーになっているときは、ノーマルまたはフルパワーに設定してください（参照！ →105ページ）。
動作が遅い ③	電源を切り、しばらく放置してください。温度が下がれば、通常の状態に戻ります。
画面上の日付／時刻の表示が違っている	・［コントロールパネル］を使って正しい日付／時刻を入力します。 ・何回直しても狂う場合は、日付／時刻の情報を維持しているクロックバッテリが切れかかっている場合があります。お買い上げの販売店またはお近くのカシオテクノサービスステーションへご相談ください。

●調子がおかしい（続き）

状 況	対 応
ホットキーがはたらかない	［スタート］ボタンをクリックし、メニューからモバイルコックピットを起動してください。
モバイルコックピットが表示されなくなった	モバイルコックピットが閉じているか、隠す設定になっている可能性があります。 ・閉じているときは、［スタート］ボタンをクリックし、メニューからモバイルコックピットを起動してください。 ・隠す設定になっているときは、［インジケータ領域］の［モバイルコックピット］アイコンをクリックし、［隠す］のチェックを外してください。
画面上のポインタが動かない	・Ctrl＋Alt＋Delを押して、本機を再起動してください。 ・システムが処理中の場合は、ポインタが砂時計の形になっています。システムの処理が終了するまで待ってください。
Windowsが動かなくなってしまった	・Ctrl＋Alt＋Delを押して、本機を再起動してください。 ・Ctrl＋Alt＋Delも機能しない場合は、本機のリセットボタンを押して、システムを再起動してください。
Muteができない	「Windows Media Player」の起動によりFn＋F7のMuteの機能ができなくなる場合があります。このような時は、タスクトレー上の情報、マスタ音量、動作が一致しません。
スティックから指を外すと、マウスポインタが少し動く。	スティックの押しかたや温度変化により、スティックから指を離してもマウスポインタが止まらずに動いてしまうことがあります。この場合は、スティックを触らずにいると自然に止まります。これは、「ドリフト」という現象で故障ではありません。

付録

●リカバリ処理した後の問題

状況	対応
標準付属ソフトウェアが使用できなくなった	リカバリを実行しても、一部のソフトウェアは初期状態に戻りません。 Product Recovery CD-ROMからそれぞれソフトウェアをインストールしてください。
画面のフォントが小さくなった	リカバリを実行しても、画面のフォントサイズは初期状態に戻りません。［画面のプロパティ］の設定を変更してください。
壁紙が変わってしまった	リカバリを実行しても、壁紙は工場出荷時の設定に戻りません。［画面のプロパティ］の設定を変更してください。

●異常や故障の場合

状況	対応
異常な臭いや過熱に気づいた場合	すぐに電源を切り、バッテリパックを外し電源コードを抜きます。
操作途中で、どうしても解らない場合	操作できない原因がどうしてもわからない場合は、カシオサポートセンターにご連絡ください。 ご連絡の際には、下記の内容をお知らせください。 ・使用している機器の名称 ・ご購入年月日 ・現在の状態、使用ソフト名称
故障が発生した	すぐにお買い上げの販売店またはお近くのカシオテクノサービスステーションへご相談ください。 ご相談の際には、下記の内容をお知らせください。 ・使用している機器の名称 ・ご購入年月日 ・現在の状態

仕様

機種名		MPC-216XL
CPU		Transmeta Crusoe TM5600 600MHz
キャッシュメモリ		128KB（1次キャッシュ）、512KB（2次キャッシュ）
BIOS ROM		512KB（フラッシュROM）
メモリ	標準／最大	128MB／256MB
	増設メモリ専用スロット	1スロット
VRAM		2MB（SMI製LynxEM+）
表示機能 *1		8.4型 TFTカラー液晶
		SVGA（800×600ドット）、最大1677万色
入力装置	キーボード	本体との一体型（JIS標準配列・かな総数84キー）ファンクションキー、Windowsキー・アプリケーションキー付き、16×13キーピッチ／1.5mmキーストローク
	操作ボタン	ワンタッチ操作ボタン（メールボタン、インターネットボタン、メモボタン）
	ポインティングデバイス	スティック
ハードディスク		15GB
サウンド機能		スピーカ（内蔵モノラル）
		ヘッドホン出力（ステレオミニジャック）
		マイク入力（モノラル内蔵）（モノラルミニジャック）
インターフェース	LAN	10Base-T/100Base-TX
	モデム（日本のみ対応）	データ：最大56kbps（V.90K56flex対応、FAX：14.4kbps）
	IEEE1394（Fire-Wire）	×1
	USB	×1（フロッピーディスク装置 品番:MPC-240FDDなどを接続します）*2
	RGB	×1（添付RGBケーブルを使用）
PCカードスロット		TYPE II×1スロット（DVD-ROM装置 品番：MPC-245DVD、CD-ROM装置 品番：MPC-142CDDなどを接続します）*2
CFカードスロット		TYPE I／II×1スロット
パワーマネージメント機能		自動または任意設定可能 ディスプレイ制御、ハードディスク制御、CPU制御、サスペンド機能（休止状態、スタンバイ状態）
時計機能		クロックバッテリバックアップ

付録

機種名			MPC-216XL
電源	ACアダプタ（添付品）		16V（AC100V、50/60Hz）
	バッテリ（添付品）*3		リチウムイオン（バッテリパック）
	稼働時間 *3		約５時間（弊社基準による）
		JEITA測定法1.0 *4	約3.3時間
	充電時間 *3		電源ON時：約2.5時間以上 電源OFF時：約2.5時間
消費電力			最大45w
	省エネ法に基づくエネルギー消費効率*5		Ｓ区分　0.0014
外形寸法(添付バッテリパック搭載時)mm			223(幅)×197(奥行)×最薄部21.2(高さ)mm
質量（添付バッテリパック搭載時）			約990g
バッテリパック	外形寸法mm		204(幅)×23(奥行)×24.6(高さ)
	質量		約165g
使用条件			温度：5〜35℃、湿度：30〜80%

＊１ TFT 液晶は、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、明るさのむらや微細な斑点が現れることがあります。また、一部に非常灯、常時点灯などの点表示が現れることがありますが故障ではありません。

＊２フロッピーディスク装置（品番：MPC-240FDD）、DVD- ROM 装置（品番：MPC-245DVD）、CD-ROM 装置（品番：MPC-142CDD）は、別売り品（オプション）です。

＊３バッテリパックによる稼働時間や充電時間は、ご利用状況やオプションの接続で上記記載時間と異なる場合があります。

＊４以下の条件で、JEITA 準拠バッテリ駆動時間測定法によりバッテリ動作時間を測定します。

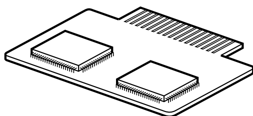
ソフトウエア／ＯＳの設定	ディスプレイ設置	解像度　800 × 600　High Color （16 ビット）
	電源設定（コントロールパネル）	モバイルコックピットⅢ　使用中
	その他のパワーマネジメント	バッテリーアラーム設定（バッテリの低下、警告）は無効
	CPU クロック	300MHz 固定（モバイルコックピットⅢにて設定）
	音量	（測定法ａ）：最低、（測定法ｂ）：通常（規定なし）
	輝度	（測定法ａ）：2/8、（測定法ｂ）：1/8（最低） （モバイルコックピットⅢにて設定）
	再生ソフト／再生画面の表示サイズ	（測定法ａ）：Windows Media Player/ 表示サイズ１倍

＊５「エネルギー消費効率」は省エネ法で定める測定方式により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

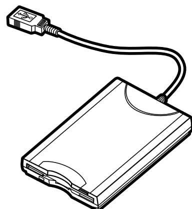
別売品一覧表

MPC-216XLでお使いいただける、便利な「別売り品」をご紹介いたします。
ぜひ、ご活用ご利用お願いいたします。

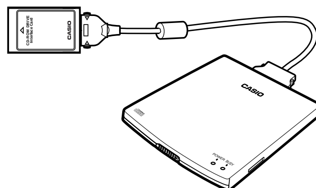
増設メモリ
（品番：MPC-252RAM）64MB
（品番：MPC-253RAM）128MB



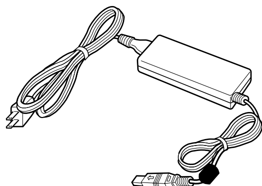
フロッピーディスクドライブ
（品番：MPC-240FDD）



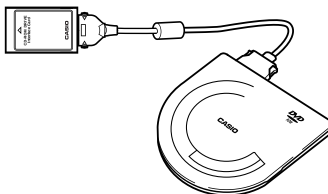
CD-ROMドライブ
（品番：MPC-142CDD）



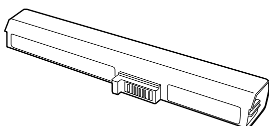
ACアダプタ
（品番：MPC-277ADP）



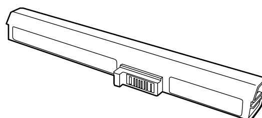
DVD-ROMドライブ
（品番：MPC-245DVD）



大容量バッテリパック
（品番：MPC-276LBAT）



バッテリパック
（品番：MPC-275BAT）



索引

た行

な行

は行

ま行

や～ん行

付録

FIVA　取扱説明書（品番：MPC-216XL）
初版　2001年11月

カシオ計算機株式会社
本社　〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2
システム事業部　〒207-8501　東京都東大和市桜が丘2-229

CASIO

カシオ計算機株式会社